

令和7年3月11日

保護者様

柏市立田中小学校
校長 並木 孝樹

令和6年度「学校評価アンケート」の集計結果について

日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にご協力いただきました「学校評価アンケート」の集計が終わりましたので、下記の通りお知らせいたします。

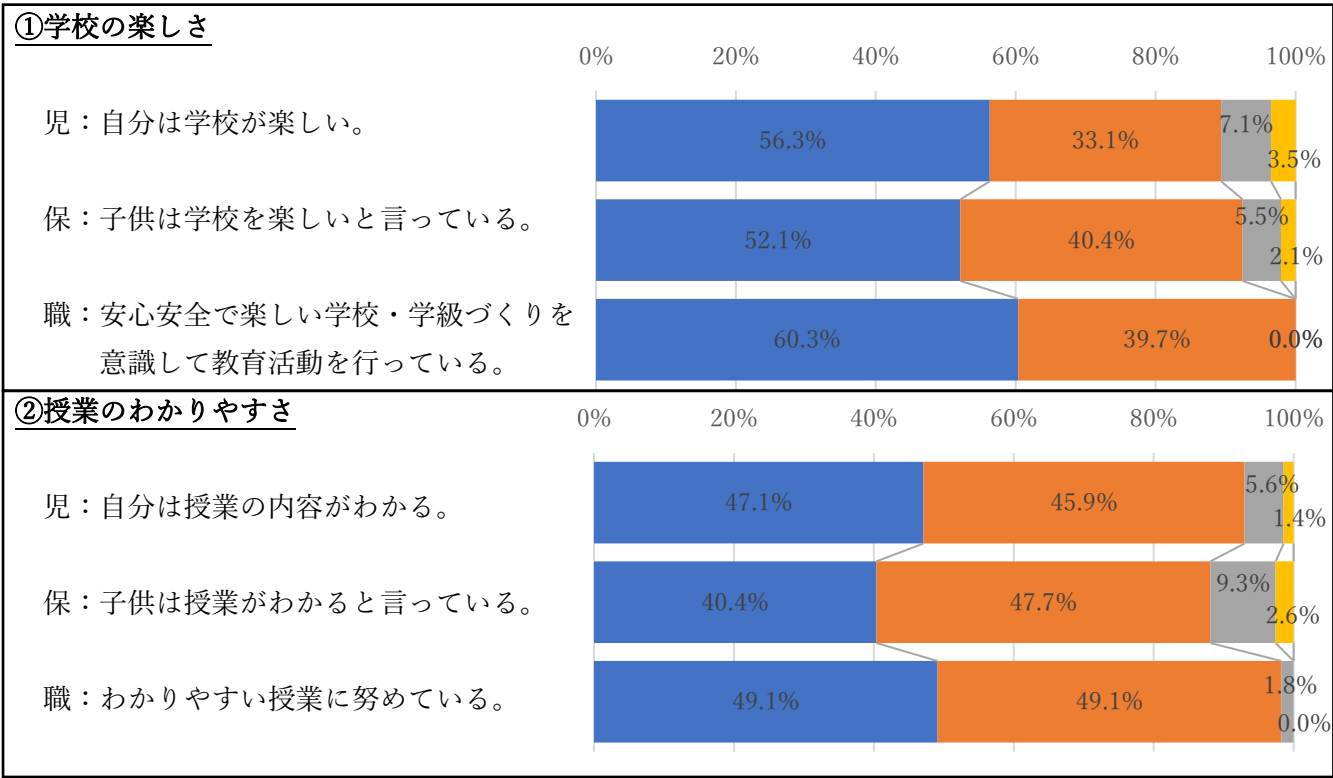
保護者の皆様からいただいた評価、ご意見を真摯に受け止め、さらによりよい田中小学校になるよう教職員一丸となり努力いたします。今年度の温かいご支援、ご協力に感謝しつつ、来年度も引き続きのご支援をお願いいたします。

記

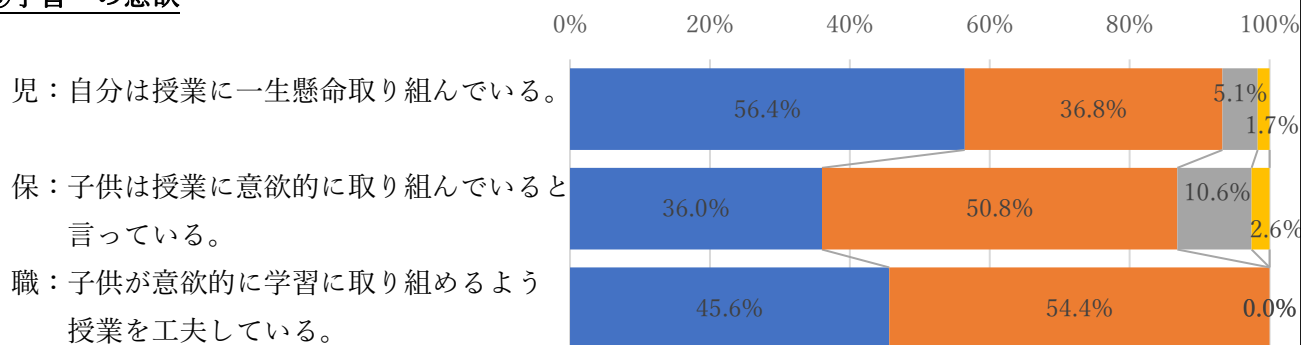
1. アンケート回答率

児童97.5% 保護者74.7% 教職員100.0%

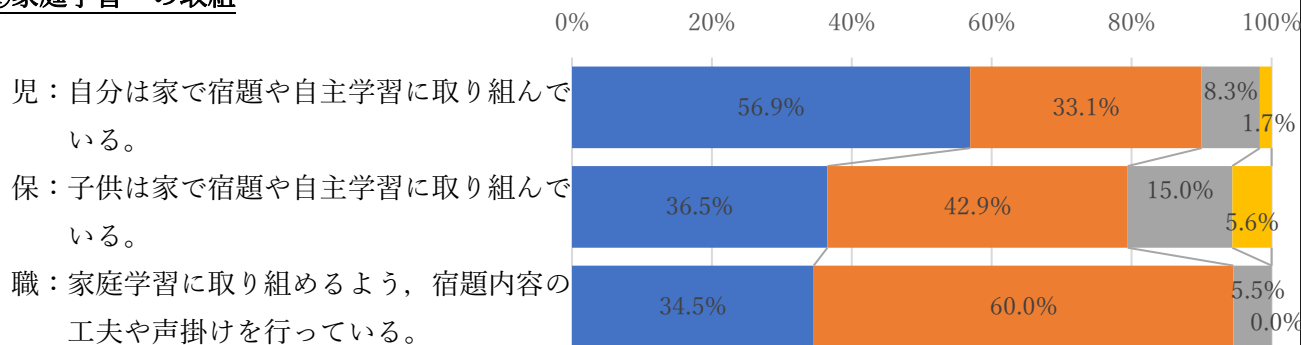
2. アンケート結果



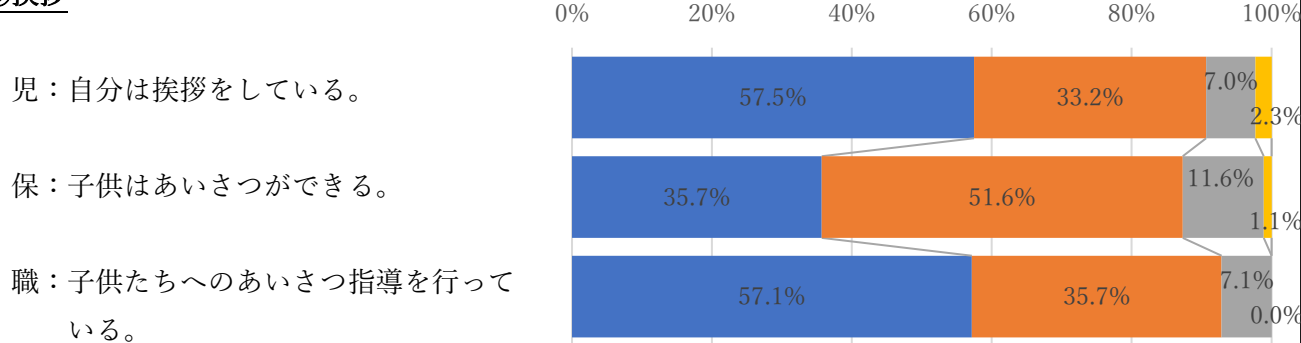
③学習への意欲



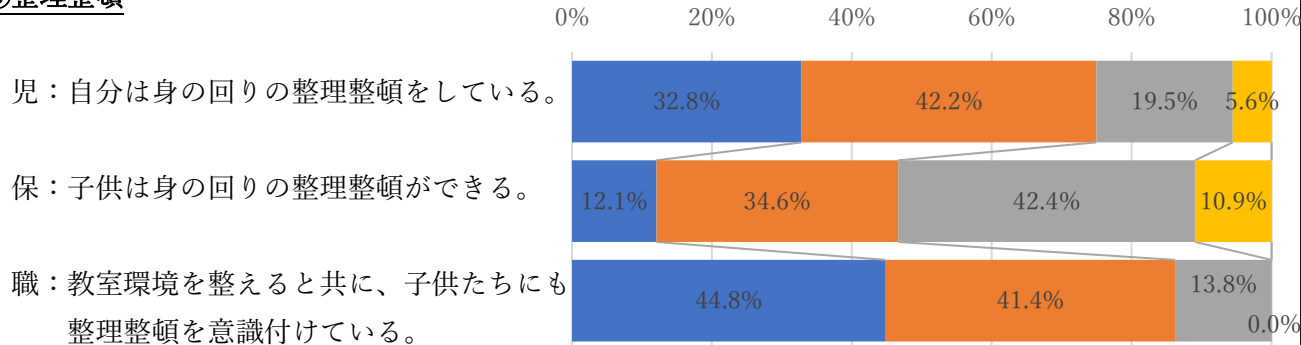
④家庭学習への取組



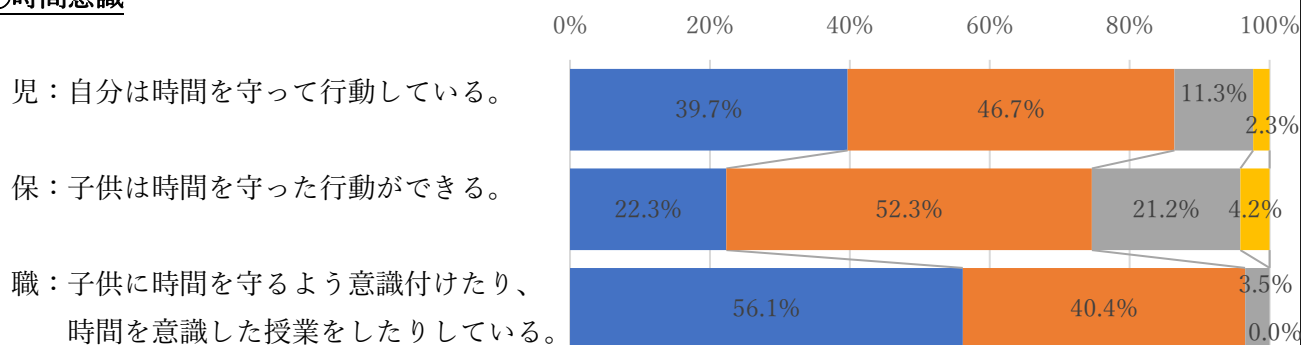
⑤挨拶



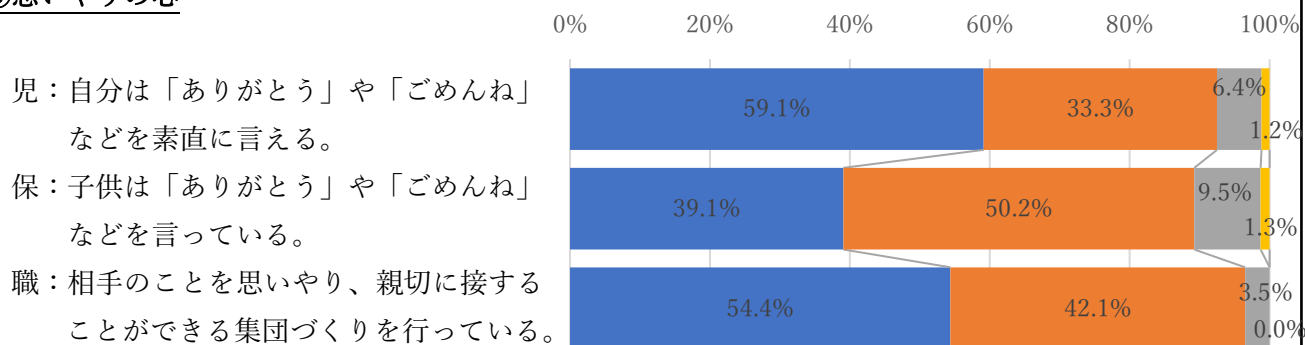
⑥整理整頓



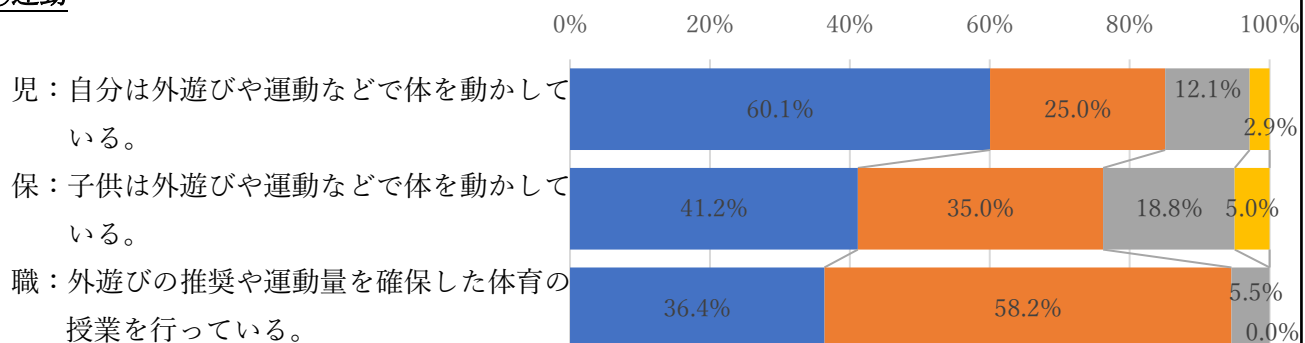
⑦時間意識



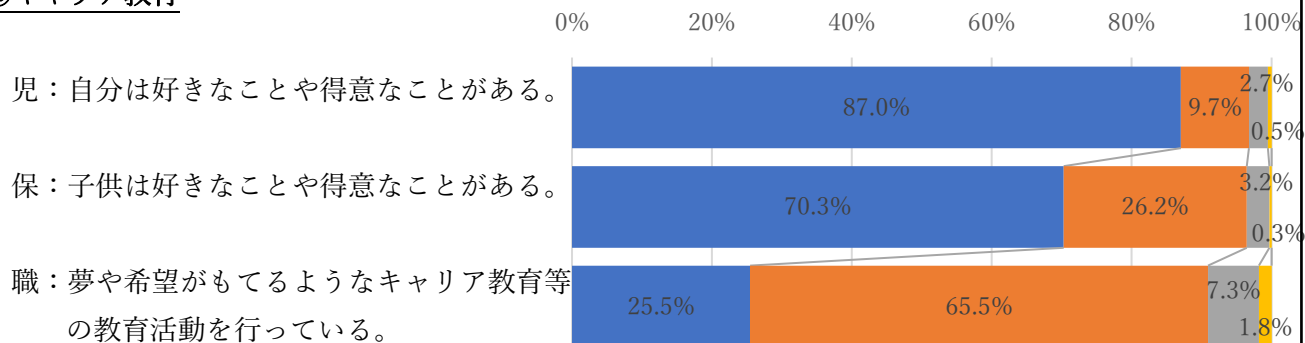
⑧思いやりの心



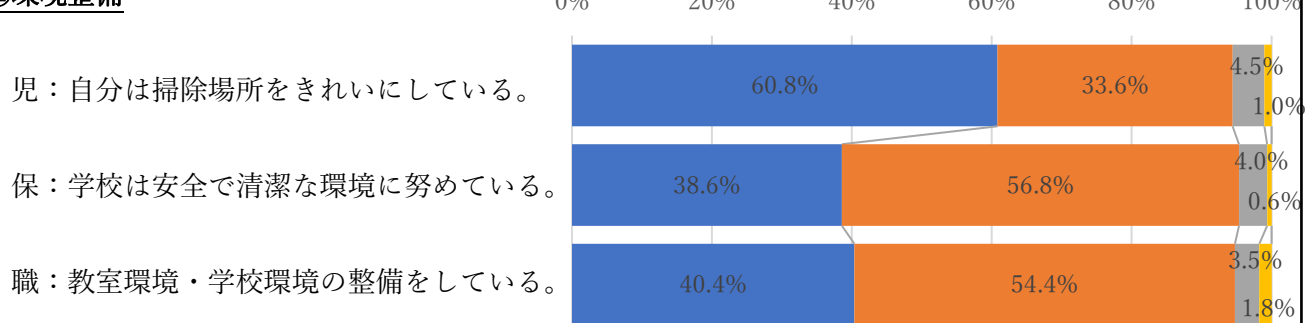
⑨運動



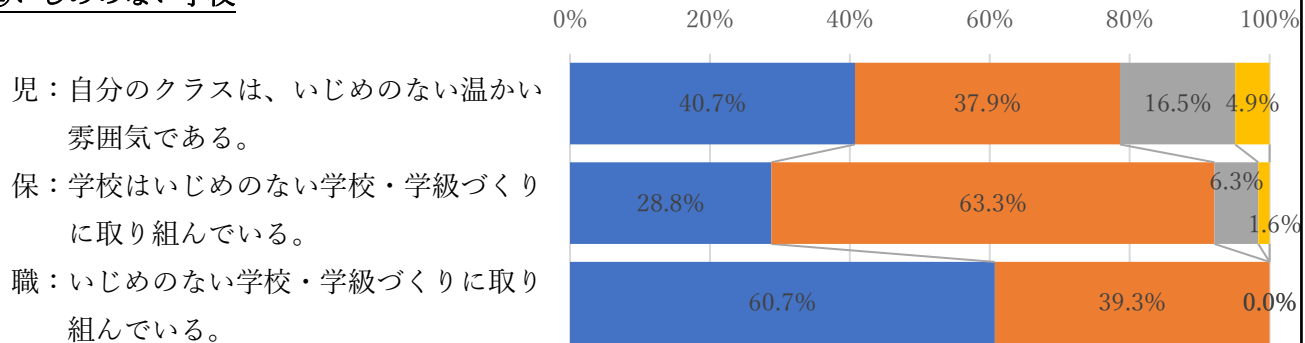
⑩キャリア教育

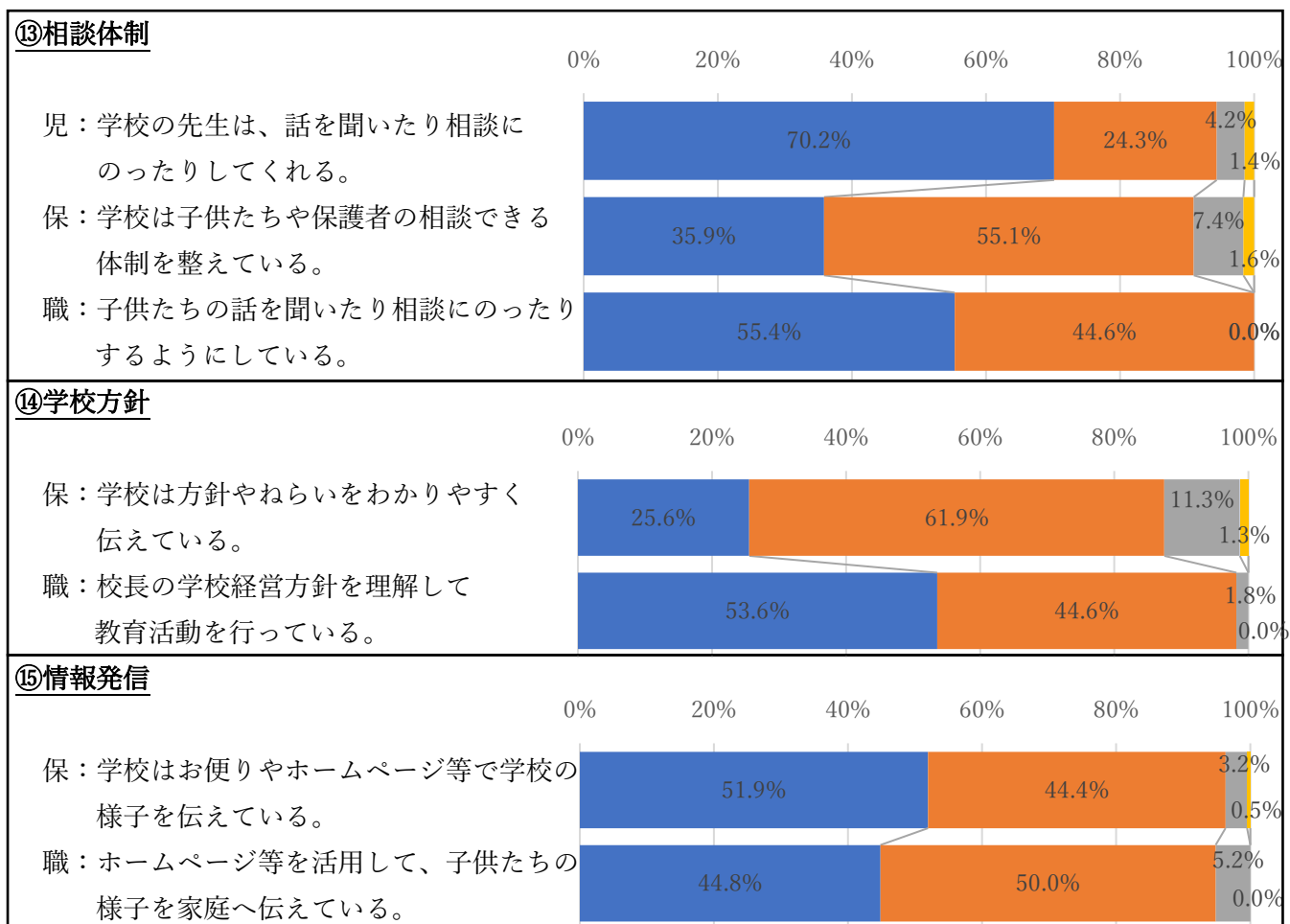


⑪環境整備



⑫いじめのない学校





2. 分析

学校生活について、肯定的（「そう思う」と「大体そう思う」を合わせた数値。以下同様。）に捉えている児童は 89.4%、保護者は 92.5% となっており、多くの児童が楽しく学校生活を送っていることが分かりました。また、学習についても、授業の分かりやすさや学習への意欲がいずれについても、児童・保護者どちらも 9 割前後と高い数値となりました。一方、家庭学習への取組については、児童と保護者で 10% 以上の開きがありました。児童は宿題をはじめ、家庭での学習に取り組んでいると感じていますが、保護者はあまりそう思わないと感じている方もいらっしゃいました。

挨拶についての項目では、肯定的な回答が児童・保護者どちらも 9 割前後と高い数値になっています。全校でのあいさつ運動や、地域の方にもご協力いただいて実施している田中地区 4 校合同あいさつ運動等の取組等もプラスに働いていると考えます。

時間意識については、他の項目と比べると、肯定的な回答が児童 86.4%、保護者 74.6% とやや低い結果となりました。また、清掃については児童・保護者いずれも 95% 前後と高い結果となった一方、身の回りの整理整頓は児童が 75.0%、保護者が 46.7% と全項目中最も肯定的な回答が少なく、保護者においては唯一肯定的な回答が過半数を下回る結果となり、課題が見られました。外遊びや運動に関する項目でも、児童が 85.1%、保護者が 76.2% とやや低い結果でした。

いじめのない学校づくりでは、保護者が 92.1% と高い評価であることに対し、児童は 78.6% に留まり、開きが見られました。しかしながら、相談体制については児童・保護者どちらも 90% 以上の高い数値となっています。引き続き児童の声に耳を傾け、スクールカウンセラー等とも連携しながらいじめのない学校づくりにつなげていきます。

3. よりよい田中小学校にするためのアイデア等（保護者の方の主な記述）

- ・授業参観だけでなく、クラスの授業を見に行ける機会を増やしていただけると嬉しいです。
- ・水捌けの良い、かつ走っても滑りにくいグラウンドになると、もっと自由に体を動かせると思います。
- ・体育や音楽の教科担任制、30人～35人学級。
- ・いつもお世話になります。担任の先生、他先生たちには寄り添って頂き感謝しています。
PTAでボランティアに参加した際、子供たちのトイレに汚さに正直驚きました。子供たちの掃除の時間だけではなく、大人が掃除する機会をもっと作って頂きたいと思います。ボランティアでやるようなら参加します。
- ・全体の縦割りで、上級生、下級生が一緒になって行えるイベント等があるといいと思います。
- ・安全や防犯の強化。登下校時を中心に、時間のある保護者が通学路を歩くなどし、見守るのはどうか。その際、わかりやすい腕章などがあれば活動しやすいと思う。

4. 改善策

（1）学習

- ①児童の資質・能力の育成に向けて、引き続き ICT を活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業展開を行い、児童が意欲的に学習に取り組めるようにします。
- ②家庭での学習習慣が身に付くよう宿題を出しますが、個に応じて学習が進められるよう、適宜自主学习等も取り入れていきます。
- ③日常の体育の充実の他、運動が苦手な児童でも楽しく体を動かせるよう、体育委員会等を中心に児童が楽しく運動できるようなイベントを実施していきます。

（2）生活

- ①あいさつ運動に引き続き取り組んでいきます。その中で、単にあいさつをするのではなく、「相手の目を見て」「自分から」「大きな声で」についてできるよう、意識付けます。
- ②課題が見られた身の回りの整理整頓については、学級で机やロッカーの整理整頓の時間を定期的に設け、子供たちに習慣付くよう進めます。

（3）その他

- ①3年生以上において教科担任制を進め、複数の職員で児童を把握できるようにします。
- ②トイレ清掃をはじめ、引き続き保護者のボランティアを募ります。また、登下校時の見守りボランティアについても、検討していきます。

5. コミュニティ・スクール（学校運営協議会）より

令和6年度「学校評価アンケート」の集計結果について、学校運営協議会の皆様から意見をいただきました。以下に、主なものを記載いたします。

- ①学校生活が楽しいと感じている児童が多のは、嬉しいことである。ただ、少数とはいえ「そう思わない」と感じている児童がいることが気になる。改善する必要があるし、地域として協力できることがあれば、ぜひ協力したい。
- ②整理整頓や整頓については、課題が残る。教室にゴミが落ちていたり、気付いても拾わない児童がいたりする。掃除をしない日でも、1～2分でもよいと思うので、「ごみ拾いをする」「気になる汚れを拭く」等、習慣づけた方がよい。

- ③トイレの汚れが気になる。コミュニティ・スクールとしても、学校が困っていることに協力したい。
また、その一方で、まずは自分たちの場所は自分たちできれいにできるようにするという視点も大切である。
- ④いじめのない学校づくりについての肯定的な回答が、保護者や先生に対して児童の方が低い。
言えずに抱えている可能性も考えられるので、相談体制の周知をはじめ、引き続き子供たちに丁寧な対応をして欲しい。
- ⑤登下校時（特に下校時）に、交通ルールを守れなかったり、大きな声を出したりしている児童を見かける。児童への指導ももちろんだが、近隣の幼稚園と連携し、午後の時間帯もスクールゾーンにできないか、検討して欲しい。また、保護者や地域が下校時の見守りを行ってはどうか。
「ながら見守り（例：散歩しながら）」で、できる時に負担なく参加できるとよい。

皆様、ご協力ありがとうございました。